

「地域課題分野」(平成25年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
濃尾平野における水資源総合管理のための地下水涵養機能評価モデルに関する研究 (研究期間：H25年～H26年)	岐阜大学 神谷浩二	B
<研究概要> 本研究は、濃尾平野における今後の適正な地下水管理に貢献するため、地下水の主要な涵養源である河川や森林による涵養機構を分析するとともに、その涵養量を評価・表現する方法を究明したものである。特に、濃尾平野の地下水には木曾三川が重要な役割を果たしていると考えられ、長良川扇状地を対象にした地下水調査等に基づき、河川の水収支に基づいた涵養量の評価方法、河川水位からみた涵養量の表現方法などについて検討した。		
<事後評価コメント> 河川水の河川周辺の地下への流入状況について、新たな知見が得られていることから、研究目的は概ね達成され、研究成果があったと言える。 しかしながら、モデル計算が中心な研究となっているため、他の類似研究の結果と比較するなどして、結論の妥当性について更なる検討が必要であったと考えられる。 今後は、上記に加え、地層構造の把握や河道内の砂州ならびに地下水の深さ方向の流動機構など三次元構造の考慮、単位流下方向長あたりの地下水流動との関係性の解明など研究を進めるのがよい。		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い